

◆法学研究科 法律学専攻 博士後期課程 カリキュラムマップ

教育研究上の目的

法学研究科(博士後期課程)は、大学教員として学部学生を指導できるレベルの極めて高度な知見を修得し、独創的で明確な研究課題を設定し、適切な研究手法を用いて、主体的かつ自律的に法的な問題を発見・分析・研究することができる人材を養成する。

ディプロマ・ポリシー

(知識・技能)

- 自身の専攻分野について、大学教員として学部学生を指導できるレベルのきわめて高度な知識を修得している。

(思考・判断・表現)

- 独創的で明確な研究課題を設定し、適切な研究手法を用いて取り組むことができる。
- 先行研究等を幅広く調査分析することができる。
- 緻密な論理構成をもって結論を導くことができる。

(関心・意欲・態度)

- 社会の諸現象に広く関心を持ち、主体的かつ自律的に法的な問題を発見・分析・研究することができる。
- 研究を行う際に研究倫理を遵守している。
- 研究を通じて、自己の研究分野にかぎられず、広く社会に貢献しようとする意欲を有している。

分野系列	科目名	単位	知識・技能	思考・判断・表現				関心・意欲・態度		
			1	2	3	4	5	6	7	
【必修科目】	博士論文	0	◎	◎	○	○	○	◎	○	
【選択必修科目】	憲法特別研究	4	◎	○	◎	○	◎	○	○	
	憲法演習	4	◎	○	○	◎	○	○	◎	
	国際法特別研究	4	◎	○	◎	○	◎	○	○	
	国際法演習	4	◎	○	○	◎	○	○	◎	
	行政法特別研究	4	◎	○	◎	○	◎	○	○	
	行政法演習	4	◎	○	○	◎	○	○	◎	
	民法特別研究	4	◎	○	◎	○	◎	○	○	
	民法演習	4	◎	○	○	◎	○	○	◎	
	商法特別研究	4	◎	○	◎	○	◎	○	○	
	商法演習	4	◎	○	○	◎	○	○	◎	
	刑法特別研究	4	◎	○	◎	○	◎	○	○	
	刑法演習	4	◎	○	○	◎	○	○	◎	
	刑事訴訟法特別研究	4	◎	○	◎	○	◎	○	○	
	刑事訴訟法演習	4	◎	○	○	◎	○	○	◎	
	民事訴訟法特別研究	4	◎	○	◎	○	◎	○	○	
	民事訴訟法演習	4	◎	○	○	◎	○	○	◎	
	労働法特別研究	4	◎	○	◎	○	◎	○	○	
	労働法演習	4	◎	○	○	◎	○	○	◎	
	経済法特別研究	4	◎	○	◎	○	◎	○	○	
	経済法演習	4	◎	○	○	◎	○	○	◎	
	知的財産法特別研究	4	◎	○	◎	○	◎	○	○	
	知的財産法演習	4	◎	○	○	◎	○	○	◎	
	刑事学特別研究	4	◎	○	◎	○	◎	○	○	
	刑事学演習	4	◎	○	○	◎	○	○	◎	
	租税法特別研究	4	◎	○	◎	○	◎	○	○	
	租税法演習	4	◎	○	○	◎	○	○	◎	
	環境法特別研究	4	◎	○	◎	○	◎	○	○	

分野系列	科目名	単位	知識・技能	思考・判断・表現			関心・意欲・態度		
			1	2	3	4	5	6	7
【選択必修科目】	環境法演習	4	◎	○	○	◎	○	○	◎
	西洋法制史特別研究	4	◎	○	◎	○	◎	○	○
	西洋法制史演習	4	◎	○	○	◎	○	○	◎
	国際私法特別研究	4	◎	○	◎	○	◎	○	○
	国際私法演習	4	◎	○	○	◎	○	○	◎
	英米法特別研究	4	◎	○	◎	○	◎	○	○
	英米法演習	4	◎	○	○	◎	○	○	◎
	ドイツ法特別研究	4	◎	○	◎	○	◎	○	○
	ドイツ法演習	4	◎	○	○	◎	○	○	◎
	フランス法特別研究	4	◎	○	◎	○	◎	○	○
	フランス法演習	4	◎	○	○	◎	○	○	◎
	比較信託法特別研究1	2	◎	○	◎	○	◎	○	○
	比較信託法特別研究2	2	◎	○	◎	○	◎	○	○
	法学研究科特殊研究	4	◎	○	◎	○	◎	○	○
	法学研究科特殊研究	2	◎	○	◎	○	◎	○	○
	法哲学特別研究	4	◎	○	◎	○	◎	○	○
	法哲学演習	4	◎	○	○	◎	○	○	◎